ジェネカフェー遺伝を知ろう、遺伝を語ろう

<企画・進行> 滝澤公子 (NPO法人遺伝カウンセリング・ジャパン理事)

<内容>

前年度に引き続き、平成 23 年度科学技術推進機構(JST)科学コミュニケーション推進事業 草の根型プログラムの採択を受け、「遺伝現象やいのちについてのリテラシー育成」をテーマとしたサイエンスカフェ(ジェネカフェ)活動を行った。

今年度は若い世代を対象に、遺伝やいのちについてのリテラシー育成をテーマとしたワークショップコンテンツや解説を展開した。各回の内容には、「DNAに起こる変異と疾患、がん」、「遺伝性疾患と社会、遺伝カウンセリングの理解、遺伝カウンセラーが担う専門性や重要性」、「いのちのつながりと多様性」、「遺伝の仕組み」などを盛り込んだ。それぞれの活動においては、対象年齢を考慮して、前半部にいのちのつながりと多様性を理解できるよう解説を行い、これらについて理解を共有し、さらに後半部で作業を行って、参加者(生徒・学生、子どもの親、一般)が遺伝の仕組みの理解を促し、講師らと話し合いを行う構成とした。

<参加者の内訳>

未就学児	2 人
小学校低学年	7 人
小学校高学年	31 人
中・高校生	24 人
大学生等	15 人
大人の参加者	30 人
子どもの保護者	31 人
슴計	140 人

<全活動リスト>

項番	活動日	活動名	実施場所	参加人数
1	2011年06月01日	ジェネカフェ 「染色体モデルを使って遺伝の仕組みを知る」	お茶の水女子大学 東京都文京区大塚 2-1-1	25
2	2011 年 07 月 24 日 (講師:室伏景子氏)	ジェネカフェ 女性とがん	国山房インターナショナル 東京都千代田区神田神保	29

			町 1-3 冨山房ビル B1	
3		ジェネカフェ いのちをつな	川崎市生涯学習プラザ	
	2011年11月19日	ぐ遺伝のしくみ―親子の不	神奈川県川崎市中原区今	19
		思議	井南町514-1	
4	2011年11月20日	ジェネカフェ 多様性のはな	日本科学未来館	15
		し一遺伝の仕組みを知ろう	東京都江東区青海 2-3-6	15
5	2012年01月29日	ジェネカフェ 遺伝の仕組み	中央大学駿河台記念館	
		を知ろう「親子をつなぐ	東京都千代田区神田駿河	52
		DNA の秘密」	台 3-11-5	

<活動を終えて>

親子の姿かたちの類似や気質のつながりについては、家庭や社会生活の場で、よく話題に上る。 ジェネカフェの取り組みからも、それらに対する人々の関心がとても高いことを知ることができた。 今回、実際の興味に即した話題や、イメージしやすい実践によって、遺伝子や DNA が伝えられる 仕組みや、それによって私たち自身が作り出されてくる仕組みを理解することを目的としたが、そ れぞれの回で人の尊厳や産みだされるいのちに対する気づき・感想が多く得られ、成功であった と考えている。

ジェネカフェは、遺伝事象の理解と興味を引き出すためにも効果的であり、人の遺伝を体感し、 自分たちのいのちを考えるきっかけにもなったので、こうした試行を遺伝学教育のみならず、生命 観の育成などの観点からも使えるものにできるよう、さらに取り組みたいと考えている。